

ストラヴィンスキーは、つねに時代の最先端にいて、時代の空気感を音楽に反映した作曲家だ。時代とともに、その作曲スタイルをどんどん変えていったことで「カメレオン作曲家」などと呼ばれる。20世紀前半、ストラヴィンスキーらが中心となって「バッハに帰れ」というスローガンとともに作られた作品は、新古典主義音楽として時代をリードした。本日演奏される《ヴァイオリン協奏曲 ニ調》もその時期につくられた作品のひとつ。

カメレオン作曲家

# イーゴリ・ ストラヴィンスキー

Igor Stravinsky (1882–1971)

B

2023

NOVEMBER

【第1996回】



## 新古典主義

ファッションの流行

は何年周期かでくり返される、  
などと言われることもあるが、  
この「新古典主義」にも、似た印象を受けないだろうか。「バッハに帰れ」というスローガンのもと、たしかにバッハ風だったり、古い舞曲風だったりといった素材で音楽がつくられているが、やっぱりそこは新古典主義、流行最先端の「20世紀の音楽」なのである。



《ヴァイオリン協奏曲》を作曲するきっかけとなった  
ヴァイオリニストのドゥシュキンとデュオを組み演奏するストラヴィンスキー  
イラストレーション©IKE